

地区版第27号

発行日：令和4年1月15日



たちばな会だより

発行者：社会福祉法人たちばな会
理事長 二橋 寛
住 所：浜松市浜北区於呂514
電 話：(053) 588-3214

新年あけましておめでとうございます。本年も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年の年明けは、昨年と同様厳しい年越し寒波に見舞われ、そして、新型コロナの感染も新しい変異株の出現により早晚第6波がくることは言われていたので、新年を迎え気分一新というよりも、どちらかといえば私たちの暮らしはどうなるのかと不安に思う気持ちの方が勝っていたかもしれません。しかし、次々に出現する新型コロナの変異株に対しても、ワクチン接種の回数を増やすことや経口薬の使用承認によって、少なくとも季節性インフルエンザ並みには収まっていくのではないかと期待もあり、経済活動は一定程度以上の成長が見込まれる上に、リモートワーク等の行動の変化による新たな需要の創出も予想されています。そういった視点で見ると、各地で開催され、報道された成人式や企業の賀詞交歓会の様子も何となく昨年とは違って明るさが感じられるものでした。過度に悲観する必要はなく、しかし、マスクの着用やうがい・手洗いの励行、三密の回避など基本的な感染予防対策を愚直に実行し、利用者さんが安心して充実した日々を送れるよう日々の業務に取り組んでいきたいと思っています。

また、少子高齢化の進展により、一層切実さを増している人材の確保という問題については、幸いなことに、現政権は「成長と分配」の好循環を進める考えから、業界間の格差に着目し、他業界に比べて低いとされている介護・福祉業界の給与を引き上げる方針を打ち出しています。厳しい環境の中で、支援を必要とする人のために頑張っている職員に伝えられるよう待遇面で改善をしていきたいと思えます。

この他に、グループホームすだちの建て替えについては、建設予定地の使用についての開発許可の手続きに入っており、順調に進めば3月の年度末には許可が下りるのではないかと期待しています。

雪などめったに降らない遠州地域ですが、寒の真っ只中ともなれば、手はかじかみ、吐く息は白くなりますが、たちばな授産所42名、サンステップ37名の利用者さんは、電車を利用し、家族に送られ、あるいは施設の送迎車を利用するなどして元気に通ってきています。地域の皆様方の日頃の温かい御理解、御支援のお陰と心より感謝申し上げます。

(施設長 山下敏明)

縁起物でげん担ぎ



行事の紹介

地域の皆様に支えられて

※実施日（たちばな授産所／サンステップ）

今年【壬寅（みずのえとら）】

今年が寅年。干支でいえば「壬寅」です。この寅年は、「新しく立ち上がること」や「生れたものが成長する」といった縁起の良さを表しているとのこと。是非、あやかっして事業拡大、工賃アップといきたいものです。

【日帰り旅行】R3. 10. 29/11. 5

細江公園と国民宿舎奥浜名湖へ日帰り旅行で行って来ました。細江公園やその近辺を散策し、国民宿舎にて昼食をとりました。



【紅葉狩り

～ふじのくに茶の都ミュージアム】R3.11.27



ふじのくに茶の都ミュージアムに行き、お茶の展示の見学と日本庭園の散策を行いました。

【クリスマス会】R3. 12. 24



創作活動とゲームで楽しいひと時を過ごしました。

【慰労会】R3. 12. 28



慰労会では来年度の目標を絵馬に書き、干支の置物などを作りました。また、お昼は一年の頑張りを労う特別メニューでした。

【レクリエーション講座】R4. 1. 8



正月遊びや創作活動をして過ごしました。



オートレース補助事業が完了しました

この度、2021年度のオートレースの補助を受けて、以下の事業を完了しました。本事業の実施により、社会福祉法人たちばな会が運営するたちばな授産所及びサンステップの各作業室に、合計6台の空気消臭除菌装置を設置し、ウイルス等の分解・除去された綺麗な空気でもって、利用者や職員の新型コロナウイルス感染リスクの低減に役立てています。

記

事業名 2021年度緊急的な対応を必要とする事業
(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策)補助事業

事業目的 空気消臭除菌装置の整備

補助金額 1,259,000円

実施場所 静岡県浜松市浜北区於呂514

完了 令和3年12月9日



車椅子を寄贈されました

一般社団法人生命保険協会静岡県協会浜松地区様より車椅子の寄贈を受けました。

静岡県協会浜松地区様の「車いすの寄贈」は1977年から今回で45回目、通算1,306台となります。

今回寄贈を受けた車椅子は、施設内での歩行困難者のために大切にに使わせていただきます。

